

5. その他の課題

①地域における自発的な防災力の向上 ～避難行動につなげるために～

避難行動をとる場合、各地域において浸水状況も異なるため、地域ごとの想定を考えて訓練を行う必要があります。

タウンウォッチング

- ・過去に起こった浸水現場の確認
- ・浸水想定区域、河川の土砂堆積状況の確認
- ・避難経路における危険箇所の確認

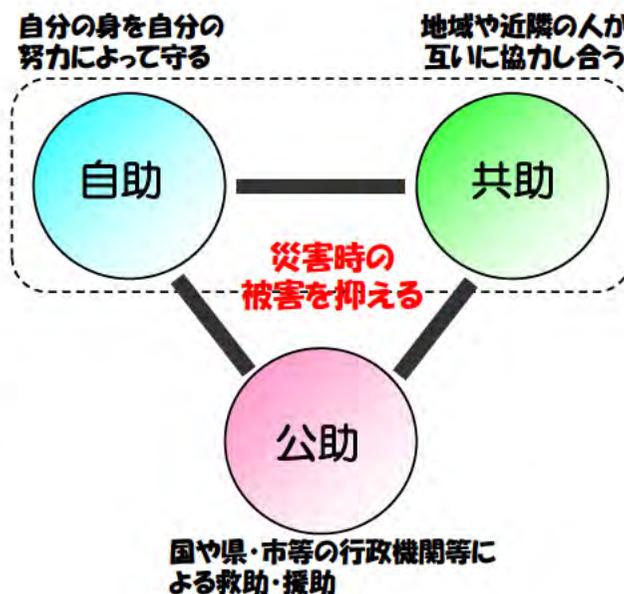


防災力の向上

- ・水防訓練や浸水を想定した避難訓練の実施
- ・浸水区域における要援護者の避難訓練
- ・地域の声を取り入れた独自のハザードマップの作成

災害対応において、「自助」、「共助」、「公助」の底上げをバランスよく行うことが大切で、「自助」や「共助」の底上げには、住民の自発的な防災力の向上や住民同士の密接な連携が不可欠です。

行政や自主防災組織、消防団、住民等が一体となって取り組める防災訓練や学習会を通し防災意識を高めるとともに、いざと言う時に行動できる体制づくりが重要です。



②浸水時における避難の課題



- ・ 雲出川沿川での道路浸水により避難が困難となる事例が見られた。
- ・ 避難経路については、冠水による通行止めを考慮して検討する必要がある。